

平成 32 年度

## 地球温暖化対策計画・実施状況報告

## 1 地球温暖化対策事業者の概要

## (1) 事業者の類別

類別	(類別の説明)
Ⅰ類	A事業所のみを有する特定事業者
Ⅱ類	B事業所を有する特定事業者(Ⅲ類の事業者を除く)
Ⅲ類	C事業所を有する特定事業者
Ⅳ類	任意事業者

## (2) 地球温暖化対策事業者

事業者名	株式会社 椿本チエイン	
所在地	大阪府大阪市北区中之島3-3-3 (中之島三井ビルディング 6F)	
事業者番号	0226	
燃料等使用量の 原油換算の合計量 (前年度)	15,660	kL/年
大規模小売店舗面積 (単独で1,500KL未満で延床面積 10,000m <sup>2</sup> 以上の事業所)		m <sup>2</sup>
産業分類名 (中分類)	輸送用機械器具製造業	
分類番号 (中分類)	31	
事業活動の概要  (事業内容、従業員数、 資本金等)	事業内容：自動車部品(タイミングチェーン等)及び コンベヤシステムの製造 資本金：170億7,600万円 従業員数：2,984人	
商標又は商号 (連鎖化事業者のみ)		

(3) 県内に設置している事業所

(自動転記)

事業所種別	事業所番号	事業所名	前年度の原油換算エネルギー使用量(kL)
A、Bテナント等事業所			
A	022600	株式会社 椿本チェーン 大宮営業所	5
B、C事業所			
C	022601	株式会社 椿本チェーン 埼玉工場	15,655
合計			15,660

(4) 公表方法

<input type="radio"/>	インターネット利用による公表	アドレス	<a href="http://www.tsubakimoto.jp/csr/environment/global/">http://www.tsubakimoto.jp/csr/environment/global/</a>
<input type="radio"/>	事業所での備え置き (複数可 書ききれない場合は別様としてください)	閲覧場所 1	椿本チェーン 埼玉工場 総務課
		所在地 1	埼玉県飯能市大字新光20番地 TEL042-973-1135
		閲覧可能時間 1	月曜日～金曜日(祝祭日を除く) 9:00～16:00
		閲覧場所 2	
		所在地 2	
	その他		

(5) 公表の担当部署

	名称 (複数可)	連絡先		
		電話番号	FAX番号	E-mailアドレス※
1	総務部 ファシリテイ課	042-973-1148	042-973-3925	
2				
3				

※ 担当者個人のメールアドレスは記入しないこと。

## 2 地球温暖化対策推進における事業者の基本方針

### 埼玉工場環境方針

当工場は「緑と清流の街・飯能」の自然環境に恵まれた地域に立地し、タイミングチェーン伝動・歯付ベルト伝動・マテリアルハンドリング装置の開発・製造並びに鋳鉄鋳物の製造をしていることを踏まえ、以下の環境方針に基づき環境管理活動に取り組みます。

1地球環境保全を推進するため、ISO14001に対応して環境マネジメントシステムの継続的な改善を行います。

2環境汚染の予防と環境負荷の低減を図り、利害関係者と良好な関係を維持するため、下記の重点テーマについて目的・目標を定めて取り組みます。

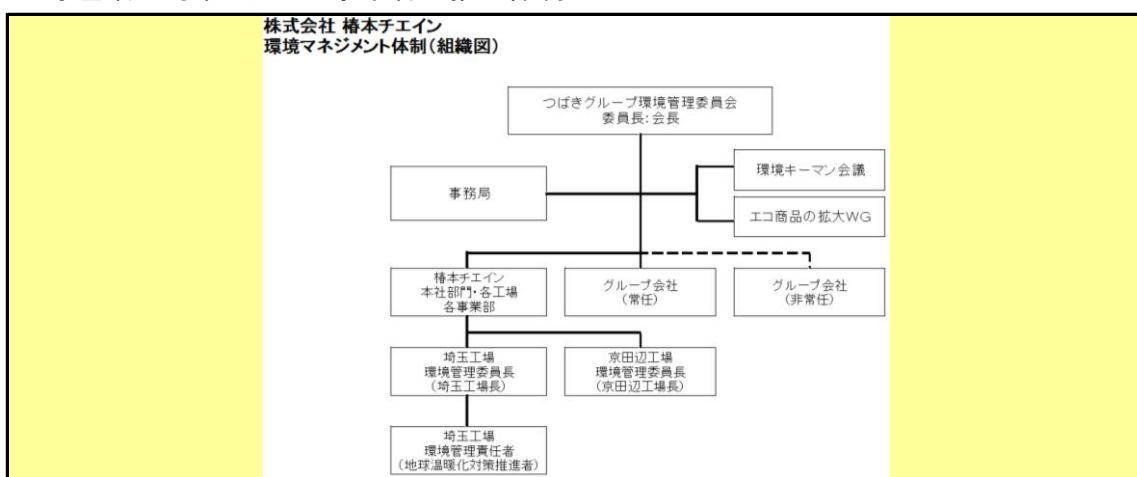
1) 生産性・品質の向上等、生産活動や業務に直結した改善活動による CO2排出削減とゼロエミッション

2) 新商品へのエコの作り込みと、エコ商品の拡販

3関連する法規制・協定及び、その他の順守義務に対応し、その責務を果たすと共に、SDGsなどの地球規模の課題解決にも積極的に取り組みます。

4埼玉工場及び関連事業所で働く、又は当社のために働く人々に周知し、環境保全への意識向上を図ると共に、地域・社会との良好なコミュニケーションを大切にします。

## 3 地球温暖化対策における事業者の推進体制



## 4 計画期間中における事業者の温室効果ガス排出量(事業所合算)の推移

CO<sub>2</sub>換算 (t-CO<sub>2</sub>)

	27年度 (2015年度)	28年度 (2016年度)	29年度 (2017年度)	30年度 (2018年度)	31年度 (2019年度)
エネルギー起源CO <sub>2</sub>	35,294	36,515	36,685	33,522	30,837
その他ガス					
温室効果ガスの合計	35,294	36,515	36,685	33,522	30,837

## 5 各事業所の計画

別紙 事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告 のとおり

平成 32 年度

事業者番号

0226

事業所番号

022600

## 事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告

## 1 事業所の概要

## (1) 事業所種別

事業所種別	A 原油換算エネルギー使用量が年間1,500kL未満の事業所(合算)
A	

## (2) 事業所及び事業内容

代表事業所名	株式会社 椿本チェーン 大宮営業所	前年度における事業所数	1
代表事業所所在地	市区町村	さいたま市大宮区	
	字・地番	大門3-42-5(太陽生命大宮ビル 9F)	
当該事業所を含む事業所の名称 (※Bテナント等の場合のみ記入)			
産業分類名(中分類)	機械器具卸売業		
分類番号(中分類)	54		
事業活動の概要	事業内容 従業員数等	事業内容: パワトラ商品(ドライブ、コンベヤチェーン、ケーブルホース案内装置、減速機、クラッチ、機器商品)の販売 従業員数: 9	

## 2 事業所の温室効果ガス排出量の削減目標

## (1) 第2計画期間の削減目標

計画期間	30	年度	～	31	年度
削減目標	エネルギー起源CO <sub>2</sub> (必須)	平成27年度原単位(0.900/人)を基準として、平成31年度末までに毎年1%ずつ改善していきます。			
	その他ガス				

## (2) 第3計画期間の削減目標

計画期間	32	年度	～	36	年度
削減目標	エネルギー起源CO <sub>2</sub> (必須)	平成31年度原単位(1.00/人)を基準として、平成36年度末までに毎年1%ずつ改善していきます。			
	その他ガス				

## 事業所リスト

番号	事業所名	所在地
1	株式会社 椿本チェーン 大宮営業所	さいたま市大宮区大門3-42-5(太陽生命大宮ビル 9F)
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

※ 入力欄が足りない場合は、シートの様式を変更せずに、同様式の別ファイルを作成して提出してください。

日本産業規格A列4番

3 事業所の温室効果ガス排出量

(1)原油換算エネルギー使用量の推移

原油換算エネルギー 使用量(kL)	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	31年度 (2019)
	5	6	6	6	5

(2)計画期間の温室効果ガス排出量の推移

CO<sub>2</sub>換算(t-CO<sub>2</sub>)

		計画期間				
		27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	31年度 (2019)
エネルギー起源 CO <sub>2</sub>		9	11	11	11	9
その他 ガス	非エネルギー起源 CO <sub>2</sub>					
	メタン					
	一酸化二窒素					
	ハイドロフルオロカーボン					
	パーフルオロカーボン					
	六ふっ化いおう					
	三ふっ化窒素					
温室効果ガスの合計		9	11	11	11	9

(3)計画期間の温室効果ガス排出量原単位の状況(エネルギー起源CO<sub>2</sub>)

CO<sub>2</sub>換算(t-CO<sub>2</sub>/指標)

				計画期間				
				27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	31年度 (2019)
エネルギー起源 CO <sub>2</sub> 排出量原単位				0.9000	0.8462	0.8462	1.1000	1.0000
活動規模の指標	○	生産量	人	10	13	13	10	9

4 温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の計画及び実施状況

A事業所

No	対策の区分		対策概要	実施年度	推計削減量(t) (一年度当たり)	
	区分番号	区分名称				
		大区分				中区分
1	130100	空気調和設備・換気設備	13_空気調和の運転管理	不要時停止及び設定温度の順守(夏季28度冬季20度) 【毎年度継続実施】	H30年度	
2	150200	受変電設備、照明設備、電気設備	15_照明設備の運用管理	不在時の消灯 【毎年度継続実施】	H30年度	
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

※ 入力欄が足りない場合は、シートの様式を変更せずに、同様式の別ファイルを作成して提出してください。

5 事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価

A事業所

(※希望者のみ記載)

自由記述欄

A large yellow rectangular area intended for free text entry, occupying most of the page's content space.



平成	32	年度	事業者番号	0226	事業所番号	022601
----	----	----	-------	------	-------	--------

事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告

1 事業所の概要

(1) 事業所種別

事業所種別	C 平成20年度以降の3か年度(年度の途中から当該事業所の使用が開始された場合にあっては、当該年度を除く3か年度)連続して、年間原油換算エネルギー使用量が1,500kL以上の事業所(他の事業所の一部(区分所有部分、テナント部分等)である事業所は除く)
-------	---

(2) 事業所及び事業内容

事業所名	株式会社 椿本チェーン 埼玉工場		
事業所所在地	市区町村	飯能市	
	字・地番	大字新光20番地	
産業分類名(中分類)	輸送用機械器具製造業		
分類番号(中分類)	31		
事業活動の概要	事業内容 従業員数等	事業内容:自動車部品(タイミングチェーン等)及び コンベヤシステムの製造 資本金:170億7,600万円 従業員数:1,119人	

2 事業所の温室効果ガス排出量の削減目標

(1) 第2計画期間の削減目標

計画期間		29	年度	~	31	年度
削減目標	エネルギー起源CO <sub>2</sub> (必須)	CO2排出量を2020年までに2005年度比 15%削減する。 ※但し、埼玉工場は条例対応のPDCAを回す。				
	その他ガス					
エネルギー起源CO <sub>2</sub> の削減 目標の概要	排出可能上限量 (計画期間合計)	175,183	t-CO <sub>2</sub>			
	削減目標量 (計画期間合計)	26,177	t-CO <sub>2</sub>	事業所区分	第2区分	

(2) 第3計画期間の削減目標

計画期間		32	年度	~	36	年度
削減目標	エネルギー起源CO <sub>2</sub> (必須)	基準排出量に対し削減計画期間の平均削減率を20%以上とする。 【必要に応じて排出量取引を活用する】 CO2排出量を2030年までに2005年度比 30%削減する。 ※但し、埼玉工場は条例対応のPDCAを回す。				
	その他ガス					

## 3-1 事業所の温室効果ガス排出量

## (1)原油換算エネルギー使用量の推移

原油換算エネルギー 使用量(kL)	計画期間				
	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	31年度 (2019)
	17,721	18,336	18,425	16,931	15,655

## (2)計画期間の温室効果ガス排出量の推移

 CO<sub>2</sub>換算(t-CO<sub>2</sub>)

		計画期間				
		27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	31年度 (2019)
エネルギー起源CO <sub>2</sub>		35,285	36,504	36,674	33,511	30,828
その他 ガス	非エネルギー起源CO <sub>2</sub>					
	メタン					
	一酸化二窒素					
	ハイドロフルオロカーボン					
	パーフルオロカーボン					
	六ふっ化いおう					
	三ふっ化窒素					
温室効果ガスの合計		35,285	36,504	36,674	33,511	30,828

 (3)計画期間の温室効果ガス排出量原単位の状況(エネルギー起源CO<sub>2</sub>)

 CO<sub>2</sub>換算(t-CO<sub>2</sub>/指標)

				計画期間				
				27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	31年度 (2019)
エネルギー起源CO <sub>2</sub> 排出量原単位				0.6259	0.6834	0.6656	0.6042	0.5987
活動規模の指標	生産量							
	○ 売上高	百万円/年	56,372	53,419	55,103	55,466	51,492	

日本産業規格A列4番

## 3-2 温室効果ガス削減目標に係る状況

## (1) 基準排出量

基準排出量	40,272	t-CO <sub>2</sub> /年
基準排出量検証	基準年度検証実施済	

## (2) 基準排出量の変更

変更年度		変更量	
変更年度		変更量	
変更年度		変更量	

## (3) 目標削減率

目標削減率の区分	第2区分
----------	------

## (4) 削減計画期間

27	年度から	31	年度まで
----	------	----	------

## (5) 年度ごとの状況

		27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	31年度 (2019)	削減期間 合計	
基準 排 出 量 等	基準排出量(A)	40,272	40,272	40,272	40,272	40,272	201,360	
	トップレベル認定							
	目標削減率(B)	13.0%	13.0%	13.0%	13.0%	13.0%		
	排出上限量 (C = ΣA-D)							175,183
	排出削減目標量 (D = Σ(A×B))							26,177
実績	エネルギー起源 CO <sub>2</sub> 排出量(E)	35,285	36,504	36,674	33,511	30,828	172,802	
	排出削減量 (F = A - E)	4,987	3,768	3,598	6,761	9,444	28,558	
特例	高効率設備の 算定量(※)							

※ 算定を希望する場合のみ記入する。別途、算定資料(任意様式)を添付すること。

 (6) エネルギー起源CO<sub>2</sub>排出量の増減に影響を及ぼす要因の分析

再生可能エネルギー発電装置の拡大により電気使用量削減により排出量が減少した。
--

4 温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の計画及び実施状況

No	対策の区分			対策概要	実施年度	推計削減量(t) (一年度当たり)
	区分番号	区分名称				
		大区分	中区分			
1	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	工場全般照明 水銀灯400W→メタルハライド灯180Wへ交換	H26以前	9
2	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	工場局部照明 蛍光灯FLR40W→Hf32Wへ交換	H26以前	6
3	350600	受変電設備、配電設備	35_抵抗等による電気の損失の防止に関する措置	高効率変圧器への交換	H27年度	9
4	350600	受変電設備、配電設備	35_抵抗等による電気の損失の防止に関する措置	高効率変圧器への交換	H29年度	8
5	320300	ボイラー、工業炉、蒸気系統、	32_放射・伝熱等による熱の損失の防止に関する措置	電気炉へ断熱ジャケットの取付け	H26以前	69
6	330200	空気調和設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	設定温度の順守(夏季28度 冬季20度)	H26以前	34
7	330200	空気調和設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	竣工から20年経過した事務棟の空調機更新	H26以前	35
8	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	LED照明ランプの導入	H26以前	5
9	370700	電動力応用設備、電気加熱設備等	37_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	高周波誘導炉の省エネオイル交換	H26以前	57
10	320100	ボイラー、工業炉、蒸気系統、	32_燃料の燃焼の合理化に関する措置	工場建物改修を行い温風暖房機(2台)を廃止し個別空調化(A重油の廃止)	H26以前	47
11	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	工場全般照明 水銀灯400W→LED77Wへ更新	H26以前	28
12	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	LED照明ランプの導入	H26以前	4
13	350600	受変電設備、配電設備	35_抵抗等による電気の損失の防止に関する措置	高効率変圧器への交換	H27年度	3
14	360700	ポンプ、ファン、ブロワー、コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	油圧式射出成形機の電動式化	H26以前	3
15	310500	一般管理事項	31_生産工程のエネルギー管理	生産工程のサイクルタイム短縮・バッチ処理量のUP etc	H26以前	69

※ 入力欄が足りない場合は、シートの様式を変更せずに、同様式の別ファイルを作成して提出してください。

5 事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価

(※希望者のみ記載)

自由記述欄

A large yellow rectangular area intended for free text input, occupying most of the page's content space.